

(様式1)

## 令和5年度指定管理者による公の施設の管理状況評価表

1 施設名 (所管課)  
富山県創業支援センター 成長戦略室

2 施設所在地  
富山市蓮町一丁目7番3号

3 施設設置年度  
令和4年度

4 設置目的  
県内における創業を支援するための環境を整備し、もって地域経済の活性化に寄与することを目的とする。

5 施設概要  
SCOP TOYAMA (富山県創業支援センター1棟、富山県創業・移住促進住宅2棟)  
敷地面積 11,065㎡  
富山県創業支援センター  
鉄筋コンクリート 4階建て  
延床面積 1,480.76㎡

6 指定管理者  
蓮町創業支援拠点運営共同体

7 指定期間  
2年10ヶ月  
令和4年6月1日 ~ 令和7年3月31日

### 8 利用者数及び利用(使用)料金収入の状況

#### (1) 利用者数(人)

R1	R2	R3	R4	R5
-	-	-	372	1,504

#### (2) 利用(使用)料金収入(千円)

R1	R2	R3	R4	R5
-	-	-	1,562	6,877

#### (3) 利用料金収入見込み額(利用料金制導入施設の場合)

R1	R2	R3	R4	R5
-	-	-	928	4,816

## 9 評価項目

### (1) 利用者数・収入の増減に対する評価

・入所については入所者の入れ替わりが発生したが、空きが出れば、すぐに新規入所申込みが入るといった状態が継続している。  
・コワーキング利用者数増加の為の施策としてイベント時等におけるお試し利用チケットの発行なども行った影響により、時間単位での利用者も安定的に増えてきた。また、その利用者の多くが継続的に常連化しつつあることから、令和5年度にはコワーキング利用の回数券も試験的に運用を開始した。

### (2) サービス向上に向けた取組み

令和5年度から、以下の取組みを実施。  
・SCOPジャーナルを季刊(年4回)で発行  
・ラボの機材の使い方講師を入所者に発注

### (3) 利用促進(収入増)に向けた取組み

令和4年度から、以下の取組みを実施。  
・LINEの活用  
・Instagramの活用  
・サイトでのお知らせ

### (4) 利用者のニーズ把握や苦情への対応

#### ① アンケート結果

実施方法	入所者面談及び、イベント参加者対象のアンケートを実施
回答者数	103名(入所者面談21社、イベント参加者82名)
結果	<p>&lt;入所者&gt; 各社の事業状況や施設利用状況等を調査。面談。 SCOP入所後の良かった点としては、「様々な職業の方との出会い・仲間ができた」など交流についての回答が43%、「集中して仕事に没頭できる」など環境についての回答が33%、「共有スペースの多さ」など設備についての回答が23%。</p> <p>&lt;イベント参加者&gt; 「わかりやすかった」「満足した」が回答者の86%</p>
結果を踏まえた改善事項	<p>・入所者面談の結果をふまえ、SCOPパートナーとの連携や専門家との面談を実施。 ・イベント参加者からの反応は概ね好評であったが、アンケートの回収率を上げられるよう、リマインドなどのタイミングを改善。 ・イベント実施については、週末昼・平日夜の開催などを織り交ぜ参加者層を増やしていく。また、事業ステージ初期の方に向けたワークショップが中心だったため、今後あらゆるフェーズの人に向けた企画も進めていく。</p>

#### ② その他利用者の声を反映させる取組み

・「事務局へのご意見や連絡」「イベント」「掲示板」「なんでも相談」などのチャンネルを設置し交流の場としてslackを活用

### ③主な苦情と対応

・リフレッシュルームを使用して休んでいる時に、視察などで急に室内に入られて気まずい気持ちになることがある。  
→リフレッシュルームの入口に「休憩しています」の案内札を設置。

・ラボの講師が1人しかいなく且つ常駐しているわけではないので、講師の負担にならない方法で、使いたい時に使える様にできないか。  
→ラボの説明動画を制作。初回は、講師からの講習を必須とするが、2回目以降の使用時の操作サポートツールとして活用。

### (5) 個人情報保護の取組み

・個人情報に関するルールを定め、現地スタッフにも周知を図っており、適切な個人情報保護が図られている。

### (6) 関係団体との連携

・他の創業支援施設との連携によりイベントを実施  
・県外のインキュベーション施設と連携し、施設や入居者のPRを実施

### (7) 施設・設備の維持管理

・日常的な清掃に加え床、ガラス、空調等の特別清掃を実施しており、利用者へ快適で衛生的な施設を提供できている。設備に不具合が生じた場合も維持管理業者による迅速な対応を行い、安心安全な施設の提供に努めている。

### (8) 危機管理・安全管理などの取組み

・緊急連絡通報体制図(連絡網)ならびに緊急事態対応マニュアルを作成するとともに、避難訓練(年2回)を実施し、適切な危機管理・安全管理に取り組んでいる。

### 10 所管課の管理運営確認状況

	有/無	回数(有の場合)
①定期報告の受理	有	12
②維持管理・運営状況等の担当職員現地確認	有	12
③個人情報に関するトラブルの有無	無	-
④危機管理・安全管理上のトラブルの有無	無	-

#### 【トラブルの具体的内容と対応】

無

### 11 今後の課題等 (収入確保、経費削減、サービス維持向上等の観点から今後の課題を記載)

・入所者や利用者の属性やステージはさまざまであるため、引き続きそれぞれの相談内容に応じたより適切な支援を行っていくことが必要と考える。  
・施設の認知度はいまだ高くないこと、独立して間もないチャレンジショップ出店者の集客力が弱いことや、近隣住民からは地域との交流が求められていることなどから、引き続き認知度の向上と顧客接点を多く設けていくことが必要と考える。  
・今後は、コワーキングスペースや貸室など、外部からの利用促進を進めるとともに、不在にすることの多いシェアオフィス利用者には、登録も可能な月額コワーキングの利用を促すなど、より活発な交流が生まれる賑わいのある施設としていくことが必要と考える。